

## 岡山県大学図書館協議会平成 29 年度第 1 回総会議事要旨

日 時：平成 29 年 6 月 15 日（木） 13：00～14：00

場 所：岡山理科大学 A1 号館 1 階プレゼンテーションルーム

出席者：20 校 24 名

会員 20 館に対し出席 20 館で、会則第 11 条 5 項を満たし、総会が成立した。

代表幹事館である岡山理科大学学長 柳澤康信の挨拶の後、会則に従い議長として岡山理科大学図書館長 榊原道夫を選出し、出席者の自己紹介を行った。

### 議 事

#### 1. 報告事項

##### 1) 平成 28 年度事業報告

平成 28 年度代表幹事館美作大学図書館から、資料 1 に基づき平成 28 年度の事業報告が行われた。

平成 28 年度研修委員長ノートルダム清心女子大学附属図書館から、資料 2 に基づき研修委員会及び研修事業報告が行われた。

##### 2) 平成 28 年度決算報告

平成 28 年度代表幹事館美作大学図書館から、資料 3 に基づき決算報告が行われた。

##### 3) 平成 28 年度監査報告

平成 28 年度監査館川崎医療短期大学附属図書館から、監査の結果、適正に処理されていることが報告された。

#### 2. 協議事項

##### 1) 平成 28 年度決算について

平成 28 年度決算報告、平成 28 年度監査報告をふまえ、協議の結果、平成 28 年度決算が承認された。

##### 2) 平成 29 年度事業計画（案）について

事務局から、資料 5 に基づき事業計画（案）の説明があり、原案通り承認された。

##### 3) 平成 29 年度予算（案）について

事務局から、資料 6 に基づき予算（案）の説明があり、原案通り承認された。

##### 4) 岡山県大学図書館協議会役員館について

事務局から、資料 7-1 から資料 7-2 に基づき役員館の説明があり、承認された。

##### 5) 研修委員会内規の改正について

資料 8, 9 に基づき、事務局より、平成 23 年度に研修委員として常任研修委員館と代表幹事館が同じ館になった際に、総会において該当館から委員を 2 名ではなく 1 名とすることが認められていた経緯があり、今年度も同じケースが発生しており、このたびこれを正式に内規に反映させたいことと、第 4 条の「職員数」の文言を明確に「専任職員数」に変更したい旨の説明がなされた。

協議の結果、原案通り改正することとなった。

尚、改正案の資料 8-1 と参考資料 3-2 の岡山県大学図書館協議会研修委員会内規（改正後）の第 4 条に文言の違いがあることが判明したため、資料 8-1 の通りに参考資料 3-2 を訂正することとなった。

6) 岡山県大学図書館協議会研修委員館および研修委員の選出について

事務局から、研修委員会内規改正をふまえて作成した資料 9-3 に基づき研修委員館および研修委員の選出について説明があった。それに対して、常任研修委員館の選出は、4 条の「1) 原則として専任職員数が 5 名以上の館からそれぞれ 1 名の委員。」となっているが、「原則として」と付記されているので、今回専任職員数の減少により常任研修委員館をはずれた図書館に継続の意思があれば、常任研修委員館として認めても良いのではないかと意見が出された。当該館に確認したところ継続の意思はないとのことであったので、内規改正後の原案通り、常任研修委員館として岡山大学附属図書館、ノートルダム清心女子大学附属図書館、川崎医療福祉大学附属図書館、岡山理科大学図書館の 4 館から各 1 名と、輪番の研修委員館として岡山商科大学附属図書館、新見公立大学附属図書館の 2 館から各 1 名の 6 名とすることで承認された。

7) 岡山県図書館協会役員館・企画委員館について

事務局から、資料 10 に基づき岡山県図書館協会役員館・企画委員館について説明があり、承認された。

8) 岡山県図書館協会 70 周年記念事業実行委員の選出について

就実大学・就実短期大学図書館より、事前に協議題として提出していたはずなのに、本件が協議事項としてあげられていない旨の発言があり、協議することとなった。

まず、就実大学・就実短期大学図書館より、岡山県図書館協会より、70 周年記念事業実行委員を大学より 1 名選出して欲しいとの依頼があったこと、任期は平成 29 年度～33 年度であること、岡山県図書館協会としては、同じ人が継続してあたるのが望ましいと考えているが、途中交代も可であることが説明され、選出の方法として、同協会の企画委員館 2 館の内どちらかがあたるという案が提案された。

協議の結果、平成 29 年度は企画委員館である就実大学・就実短期大学が実行委員を務める事となり、平成 30 年度以降については、今後協議を続けることとなった。

3. 報告事項

4) 相互協力状況等

資料 4-1 から資料 4-3 に基づき、事務局から相互協力等について報告があった。

平成 30 年度代表幹事館山陽学園大学・山陽学園短期大学図書館 古川徹図書館長から挨拶があり、その後、議長が閉会の挨拶を行った。

以上